

令和元年度 学校関係者評価

実施時期	令和元年 11 月～12 月
内 容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 全体課題としてアクティブラーニングの取り組み状況と各クラスの課題沿った取り組みについて</li> <li>・ 給食の味付け等について</li> </ul>
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 公開保育による</li> <li>・ 給食試食会による</li> </ul>
評価者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 当法人役員並びに職員</li> <li>・ 保護者</li> </ul>

ラスカル組(2 歳児)	園児数 23 名 担任 4 名 実施日 12 月 2 日
内容	ごっこ遊びの看板製作
幼児の活動	グループのみんなで会話を楽しみながら看板を作る
指導のポイント	個々のアイデアを引き出しみんなで一つの物を完成させる達成感を味わえるようにする。
良かったところや工夫を感じられたところ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 朝の会で好きな色の発表が、活動と連動していた。</li> <li>・ 次に行くことを一つ一つ説明していたので、理解しやすい。</li> <li>・ 制作したものが、出来上がり達成感を感じられる工夫がされていた。</li> <li>・ 自分で考えて、自分の好きな色、道具を使っていた。</li> <li>・ 普段からグループでの活動を楽しめていることが伝わった。</li> <li>・ 先生のお話をよく聞いていた。</li> <li>・ 画用紙ではない紙に絵を描いている子どもに対しての言葉かけが、否定的ではなく飾ることへ意識出来る方向へ促していた。</li> </ul>
アドバイス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 見本の画用紙は実際の物ではなく、大きいサイズの方が良い。(後ろの席が見やすい)</li> <li>・ 画用紙を取りに行く時には、必要のない机は後ろに下げてもよい。</li> <li>・ 画用紙を看板に貼る時の言葉かけがわかりずらかった。 線の中に貼る→小さいお部屋の中に貼るなど。</li> <li>・ 理解している子とそうでない子がいるので、4 人の保育者が担当グループを決めておけば こどもたちの声を聞いてあげられたのではないか。</li> <li>・ ちぎる→貼る→見せあう→さらに工夫しあうなどもう少し作りこませてもよい。</li> </ul>

	・2歳児にしてはやることが多いように感じた。一つ一つ丁寧にやってみては。
--	--------------------------------------

ムーミン組(3歳児)	園児数 29名 担任 2名 実施日 12月5日
内容	ごっこ遊びの準備
幼児の活動	ごっこ遊びに向けて自分が作りたいと思ったものの制作に取り組む。制作に取り組む中で新しくアイデアがあがる。
指導のポイント	制作物毎にコーナーを分け、自分の作りたいものを作ることができるようにする。子どもたちの作りたい物の意見が出た際にはそれを受け止め周りの子どもに共有する。
良かったところや工夫を感じられたところ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝の会での座り方で、きちんと座れない子どもを注意するのではなく、できている子どもを褒めることで、皆がきちんと座れるよう意識させていた。</li> <li>・先生自身が子どもとともに座り視線を合わせていた。</li> <li>・円になって朝の会をすることで、友達の顔を見ることができて良かった。</li> <li>・気乗りしない子どもに無理強いせず、お手伝いをさせたり、一緒にじっくり考える時間を与えていた。</li> <li>・子どもにやりたい活動を選ばせていた。</li> <li>・様々な制作や材料が用意されており選ぶことができていた。</li> <li>・友達の制作が見やすい机の配置。</li> <li>・完成したものを皆に紹介し、工夫された点や頑張った点を認めたことで、次回への意欲に繋がっていた。</li> <li>・以前から制作したものと、今回制作したものをお部屋に飾ることで、達成感を感じられていた。</li> <li>・午後の活動を遊びたい子、活動を続けたい子に配慮していた。</li> </ul>
アドバイス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・最初の説明が長かった。</li> <li>・スモールステップになるよう工夫してみてもどうか。</li> <li>・自分で失敗に気づく、問題を解決する等、友達と制作を見せ合う場面があってもよい。</li> <li>・見学者の座る場所の配慮。(ロッカーに物を取りに行くのであれば)</li> <li>・ハサミを使う際に机に先生がいなかったのが、危ないと感じた。</li> </ul>

ピノキオ組(4歳児)	園児数 32名 担任 2名 介助員 1名 実施日 12月3日
内容	ごっこ遊び制作
幼児の活動	前日に話し合った物、完成に向け、制作を行う。グループで協力して

	つくる。
指導のポイント	イラストを見ながら子どもたちのイメージが広がるよう盛り上げて活動をすすめていく。
良かったところや工夫を感じられたところ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一日の流れをカードを利用して明確化し、終わった項目にチェックを入れ、次にすることがわかりやすかった。</li> <li>・先生の声掛けに子どもたちも大きな声で答えており、クラスの一体感を感じられた。</li> <li>・子ども自身が考え制作していて、皆が役割を持って取り組んでいた。</li> <li>・集中力が続かない子もいるが、その子なりに取り組んでいた。</li> <li>・うまくグループ分けされており、全体的に楽しんでいた。</li> <li>・素材遊びを多く取り入れていたこともあり、ハサミの使い方が上手で、切ったゴミはすぐに片付けることが、身についており日頃の積み重ねを感じた。</li> <li>・子どもの意見を尊重していた。</li> <li>・大きな声で発言できない子どもの声にもきちんと寄り添えていた。</li> <li>・保育室内のドキュメンテーションや活動の流れが視覚的にわかりやすかった。</li> <li>・心地よい言葉、そうではない言葉の表現一欄が素敵。</li> <li>・子どもたちの活躍できる場面があった。</li> </ul>
アドバイス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・段ボールを切る際の子どもの人数（10人）は多く危険を感じた。</li> <li>・使ったハサミをケースに戻していない子どもがいて、危ないと思った。</li> <li>・ふざけてやぶったりしても自分たちで解決するように声掛けをしてもよかった。</li> <li>・保護者に見せたりする行事ではないので、大いに失敗すればよい。</li> </ul>

ガリバー組(5歳児)	園児数 29名 担任 2名 実施日 12月4日
内容	お店屋さんごっこの準備
幼児の活動	事前に話し合った事やイラストに起こしたものを基にお店の準備を友達と協力して進めようとする。
指導のポイント	互いのイメージを受け入れ合いながら遊ぶ楽しさが味わえるように、共感し進めようとする姿を認めたり、状況に応じて思いの伝わる言い方に気付かせていく。
良かったところや工夫を感じられたところ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホワイトボードに時間や予定等流れが書いてあり、見通しを持って活動できていた。</li> <li>・子ども一人一人が自分の役割を概ね理解し活動していた。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動中の子どもたちの声を拾って紹介したり発表させていて良かった。</li> <li>・さすが年長と感心する発想とアイデア（冷蔵庫、水場等）</li> <li>・一通りお店屋さんを行った後に、振り返りの時間を設けていた。これからの課題を皆で知ることができていた。</li> <li>・自由画帳にお店の絵を描きおこすことで、イメージが膨らみやすい。</li> <li>・衣装は個性あふれ、なりきって楽しんでいた。</li> <li>・実際にやってみてうまくいかないところを見つけ、改善しようとする姿が意欲的だった。</li> <li>・危険だったり壊れてしまいそうなときに先生がさりげなくサポートしていた。</li> <li>・衣装作りの際、友達同士で声を掛け合い手伝っていた。</li> </ul>
アドバイス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ハサミの使い方が気になった。持ったまま歩いたり、出したままだったり危険だと思った。もう一度ハサミの指導は必要ではないか。</li> <li>・アクセサリーの看板などうまくいかないことも手を貸さずに子どもたちにまかせてもよい。</li> <li>・制作や買い物に夢中になり、せっかく作った商品を落とし、踏んでも気にしていない。物を大切にする気持ちが育ってほしい。</li> <li>・年長児以外のクラスに 100 円はわからないのではいか。コイン〇個と共通して看板にも記入したほうがよい。</li> <li>・フードコーナーだ皆が使った椅子をきちんと片付けていた子どもがいたので、そういった姿を皆に伝えてあげてもよかった。</li> <li>・制作～販売へ活動が変わる際、ゴミがとても多かった。</li> </ul>

給食試食会	参加者 14 名 実施日 11 月 27 日
味付け	13 票（ちょうどよい） 1 票（少し薄い）
献立のバランス	13 票（良い） 1 票（普通）
献立表を確認している	8 票（見ている） 時々見ている（5 票） 子どもに献立を発表しているという方も
ご意見ご要望等	<p>○おひたし おひたしの具に、ヒジキや大根が入っていて驚いた。 大根の苦みもなく非常においしかった。</p> <p>○卵焼き 卵焼きも一般的なものと違いカップになっていて参考になった。 この人数をどう提供しているか不思議だったがカップだと知り、驚いた。</p>

	<p>卵の中にも細かく野菜が入っていて一食でたくさんの食材を摂れていると知った。</p> <p>○その他</p> <p>りんごも変色なくきれいで塩味も程よいバランスだった。</p> <p>野菜が苦手な子供も給食なら食べられると言うのでありがたい。たまにで良いので「人気の給食レシピ」がおたよりに載っていると嬉しい。</p> <p>家では食べない野菜も給食では食べた！というのでびっくりする。</p> <p>美味しくて品目も多くて子どもたちが給食を好きになる理由がよくわかる。</p> <p>入園後、家でも食べられるものが増えてありがたい。</p> <p>人気のメニューやレシピを教えてほしい。</p> <p>家では野菜をなかなか食べてくれないので、いろいろな食材を使っていてありがたい。</p> <p>いつもバランスの取れた献立で、子どもも毎日「おかわりした！」と喜んでいきます。</p> <p>毎日「今日の給食なに？」と楽しみにしています。</p> <p>毎日献立を見るわけではないため曜日でパンや麺類の日が決まっています。</p> <p>味の濃さ等、とてもちょうどよく美味しかった。</p> <p>懐かしい味で美味しかった。</p>
--	--

#### ■園長総評

昨年度約半年間をかけて ECEQ（公開保育を活用した幼児教育の質向上システム）を実施したので、今年度は第三者を入れずに学校関係者のみで公開保育を実施した。

また今年度は鎌倉女子大学の佐藤教授よりキャリアパス構築に向けた研修を 9 月に実施し、研修を通して明確になった教員一人ひとりの課題を解決する一環として公開保育を活用し、さらに後日各クラス毎に中間報告も併せて実施した。今回改善が進んでいる点として、アクティブラーニングを意識した保育の理解と実践が充実してきたことが上げられ、年齢に沿った指導が着実に展開されてきていると感じる。

2 月末に全体研修を実施し今年度のまとめをおこなう予定であったが、新型コロナウイルス感染防止のため実施できず残念であったが、次年度は引き続きキャリアパス構築に向けた園内研修を実施し、さらに質の高い幼児教育を展開できることを目標とする。

3 月 6 日記